

ダブルストックは山を駄目にする?!
ストックを使うより足腰を鍛える方が先決では

「昔はストックを突いて山を歩く登山者をあまり見かけなかったが、中高年が山に来るようになってからほとんどの人が使うようになった。アクセサリーとして持ち歩くなら不要だし、杖を突きながら歩いたらかえってペースが下がり、遅くなるのではないか。山でやめてもらいたいことのひとつだ」

こういうのはとある山小屋の主人である。いったい何故か。その主人はこういう。

「ストックを突くと、登山道に穴が開いて荒れてしまう。特に雨の日など20人ほどの団体客がダブルストックで山を歩いた後は登山道が掘り返されたようになって無残だ。それだけで済めばいいが、そこに水がたまり、泥田のようになってどんどん崩れて行く。後から来た団体がそれを嫌がり、その横を同じようにダブルストックで歩く。すると、瞬く間にもう1本道が出来、荒地が広がるばかりだ」

いかにストックが山道を荒らしているかということがわかる話である。

奥秩父の両神山では以前、山の持ち主があまりにも山が荒れるのでストックを禁止したことがあったほどだ。現在、両神山は埼玉県秩父郡小鹿野町が管轄し、禁止の処置はとっていないも

の、ストックを使う時は先端にゴムを被せて使用するようにと指導している。

ストックの弊害はそればかりではない。ストックを十分に使いこなせないのに持ち歩くためにとんでもないところに突き、バランスを崩して転倒したり、さらには誤って人に危害を加えたりするという事故が繰り返し起きている。またストックを使うことが楽だと思ってしまう。体を積極的に鍛えなくなっている人も増えている。ストックがなくても山を歩けるようでないといざとなった時、歩行困難になるばかりである。ストックを購入する以前に足腰を鍛える方が先決なのではないか。今後はストックを使っても1本にしたり、雨の日はなるべく使わないようにしたりする。そういった対策を講じないとストック禍はますます広がり、日本の登山道は駄目になってしまうだろう。



ダブルストックで歩く登山者。本人は楽かも知れないが、登山道が傷む心配は否めない。雨の日は使わないとか先端の石突きにゴムを被せるなどインパクトが少ないようにしたい